

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	市単独舗装新設改良事業	会計名称	一般会計		担当課	土木管理課		
		予算科目	8 款 2 項 5 目	事業番号	3530	所属長名	武智年哉	
事業評価の有無	☒ 評価対象事業 ☐ 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ）				担当責任者名	高井保雅		
法令根拠等	道路法				実施期間	【開始】	平成 17 年度	
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造					【終了】	平成	年度(予定)
	人に優しい道路・交通体系づくり							☒ 設定なし
総合計画における本事業の役割	市民生活を支える道路としての機能を十分に果たせるよう事業を実施する。							
事業の対象	伊予市が認定、供用を開始し管理している市道			事業の目的	舗装新設改良工事を行い、利用者の利便性向上と通行の安全確保を図る			
事業の内容（整備内容）	道路改良を行った路線の舗装新設工事、経年劣化により通行に支障をきたしている路線の舗装改良工事			昨年度の課題に対する具体的な改善策	路面性状調査により舗装補修が必要な路線の舗装長寿命化修繕計画策定を行う必要がある。			

事業活動の内容・成果（D0）

事業費及び財源内訳（千円）							事業活動の実績（活動指標）						
項目		前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	28年度実績	29年度予定	9月末の実績	29年度実績
財源内訳	直接事業費	0	2,400	0	0	0	2,520	舗装改良工事	件		1	1	1
	国庫支出金		0	0	0	0	0						
	県支出金		0	0	0	0	0						
	地方債		0	0	0	0	0						
	その他		0	0	0	0	0						
	一般財源	0	2,400	0	0	0	2,520						
職員の人工（にんく）数		1.20	0.20				0.20						
1人当たりの人件費単価		8,086	8,017				8,017						
※ 直接事業費＋人件費		9,703	4,003				4,123						
主な実施主体				実施形態（補助金・指定管理料・委託料等の記載欄）									
向こう5年間の直接事業費の推移 （千円）						30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	5年間の合計		
						10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	50,000		
成果指標	指標	工事予定箇所÷工事実施箇所＝実施率				単位	⇒	区分年度	28年度	29年度	30年度	目標 毎年度	
						%		目標	100				
	指標設定の考え方							実績	100				
						指標で表せない効果							

事務事業評価（CHECK）

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 （今年度の途中経過）			上水道管理者と協議を行い、工事発注を行った。									
事業 												

施 策 を 踏 ま え た 判 断	二 次 判 定	☐	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		☐	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		
		☒	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
			アスファルト舗装の耐用年数は通行車両、通行台数でも違うが概ね10年と言われている。1級、2級市道のほか、重要な市道路線は舗装路面性状調査を施し、国の交付金事業を活用して実施する。		
		☐	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		☐	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		☐	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
☐	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。				

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容

今後の方向性（ACTION）

の 経 営 最 終 者 判 断 議	事業の方向性	コメント欄	
	☐	さらに重点化する。	二次判定の内容を踏まえ見直すこと。
	☐	現状のまま継続する。	
	☒	右記の点を見直しの上、継続する。	
	☐	事業の縮小を行う。	
	☐	事業の休止、廃止を行う。	